

平成30年度 第1回 ファシリティマネジメント（FM）研究部会  
自治体等FM連絡会議千葉県地域会 （要録）

日 時	平成30年7月20日（金）14時00分～17時00分
場 所	習志野市 庁舎グラウンドフロア会議室
出席者	<p>【部会員】千葉県、千葉市、銚子市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、成田市、香取市、東金市、柏市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、印西市、南房総市、山武市、酒々井町、館山市、八街市、白井市、旭市、習志野市、佐倉市（32自治体98名）</p> <p>【その他】財務省関東財務局千葉財務事務所（4名）</p>
内 容	<p>1 挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部会長（佐倉市）挨拶</li> <li>・ 会場自治体（習志野市）挨拶</li> <li>・ 自治体等FM連絡会議千葉県地域会代表幹事（流山市）挨拶</li> </ul> <p>2 発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「盛岡市の公共施設マネジメントの推進について」</li> <li>・ 「個別施設計画と合意形成」（盛岡市）</li> <li>・ 「千葉市公共施設等個別施設計画について」（千葉市）</li> </ul> <p>3 習志野市新庁舎見学</p>

## 1. 挨拶

- ・ 部会長（佐倉市）挨拶  
佐倉市資産管理経営室 室長 小菅慶太氏
- ・ 会場自治体（習志野市）挨拶  
習志野市政策経営部資産管理課課長 遠藤良宣氏
- ・ 自治体等FM連絡会議 千葉県地域会 代表幹事（流山市）挨拶  
流山市総務部財産活用課ファシリティマネジメント推進室 室長 井上雅之氏  
（印南圭祐氏 代読）

## 2. 事例紹介

- ・ 「盛岡市の公共施設マネジメントの推進について」
- ・ 「個別施設計画と合意形成」  
盛岡市財政部資産経営課 上森貞行氏

平成21年度に自治体経営の指針及び実施計画を策定し、平成22～23年度にかけて、岩手県立大学盛岡市まちづくり研究所で調査研究を実施した。平成27年度に市民フォーラムや市民意見交換会、平成28年度に中期計画・実施計画の策定、平成29年度に「もりおかPPPプラットフォーム」を設置した。

- 盛岡市まちづくり研究所において、長寿命化と総量縮小の組み合わせこそが、限られた財源を有効に活用して市民サービスの質を維持・向上させる有効な手段であると提言された。
- 公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針にて、量・サービス・コスト・性能の最適化を目指し、新規整備の抑制（新規の設置及び取得は、原則行わない）、既存設備の見直し（施設評価の実施）などを定めた。
- 市民討議会の結果、各施設の存在や利用方法について認知度が低い事実を再認識した。
- 事務局案だけまたは各部局案だけになることなく、必ず双方向から施設評価を実施すると同時にヒアリングも実施する。
- 長寿命化に向けた取り組みとして、耐用年数80年を目指し、築後おおむね20年で修繕、40年で大規模改修、60年で修繕を行う。
- 管理職（課長級）による検討会議を13回開催するなど、問題意識と見直しの考え方を共有し、庁内合意形成に留意した。
- 個別施設計画における財源確保方法として、施設使用料の見直し、資産の有効活用、維持管理業務の見直し、PPP/PFIの推進、基金の活用がある。

・「千葉市公共施設等個別施設計画について」

千葉市財政局資産経営部資産経営課 遠藤貢氏

「千葉市資産経営基本方針」（平成24年1月）で示した資産経営の基本的な考え方に基づき、すべての公共施設等を対象として、総合的で計画的な管理等に関する事項を定める「千葉市公共施設等総合管理計画」（平成27年5月）を策定した。同計画が対象とする公共建築物及びインフラについて、これまでの資産経営の取り組みや各施設の実情等を踏まえながら、個別施設ごとに対策の内容や時期等を定める「千葉市公共施設等個別施設計画」を策定することとした。

- 当該施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等対策を実施する際に考慮すべき事項を設定の上、それらに基づく優先順位の考え方を明確化した。
- 更新の機会をとらえた機能転用・用途変更、複合化・集約化、廃止・撤去、耐震化等の必要な対策について、講ずる措置の内容や実施時期を施設ごとに整理する。
- 点検・診断によって得られた個別施設の状態について施設ごとに整理し、未実施の施設については、点検実施時期を明記する。
- 小中学校の統合により学校跡施設が5校発生し、その跡地をスポーツ広場、高齢者福祉施設用地、隣接する学校の体育館等に活用した事例紹介があった。
- 跡地の利用にあたっては、中長期的な視点から、人口・世代構成や、周辺地域の施設の状況、地元住民の要望などを総合的に勘案した。

3. 習志野市新庁舎見学

希望者が各自で見学。